

藤田医科大学における精神・神経疾患の 病態解明・創薬に向けた分野横断型研究拠点の構築と データサイエンティスト育成に向けた取り組みについて

吉本 潤一郎 先生
藤田医科大学医学部 医用データ科学講座 教授

日時：令和7年6月17日（火）18:00～19:00
場所：基礎研究棟1階カンファレンスルーム

【要旨】

藤田医科大学は、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)の2024年度採択大学となり、精神・神経病態研究拠点Fujita Mind-BRIDGeを発足させた。本研究拠点では、精神・神経疾患(統合失調症、うつ病、アルツハイマー病など)の治療薬や治療法開発に向けて、1)研究開発エコシステムの構築、2)サステナブル研究の推進、3)人材育成、4)国際連携とブランディングの4つを柱とする施策を進め、10年後に「世界最高レベルの研究拠点」と「アカデミア創薬エコシステム」を確立することをめざしている。本発表では、Fujita Mind-BRIDGeの研究体制とデータサイエンティスト育成に向けた具体的な取り組みを概説する。また、その一環として発表者と医学部生が精神科の協力の下で実施した自閉スペクトラム症(ASD)患者のデータ駆動的フェノタイピングに関する研究成果についても紹介する。ここでは、ASD患者197名および定型発達者127名に対して実施した15種類の心理検査結果をもとに、そのスコアを非線形次元縮約法t-SNEを用いて分析した。その結果、前頭葉機能に関連する明確なクラスタ構造が認められ、特にASD患者群においては、異なるクラスタ間でPTSDの症状評価について有意な差が認められた。

主催：山口大学大学院医学系研究科
システムバイオインフォマティクス講座

共催：山口大学大学院医学系研究科・医学部附属病院
AIシステム医学・医療研究教育センター(AISMEC)

山口大学細胞デザイン医科学研究所
システム医学情報研究部門

問い合わせ：システムバイオインフォマティクス講座（内線2229）



オンラインでの
配信も同時開催
いたします。

